

がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン

—高度がん医療開発を先導する専門家の養成— 市民公開講座・QOLキックオフシンポジウム

がん患者のQOLを 高めるサポーターティブケア

入場
無料

申込
不要

※QOL:生活の質を高める

日 時

2013年2月2日(土)
13:00—16:30

がんと診断された早期から、がん治療に伴う症状などに焦点を当てたサポーターティブケアの重要性がクローズアップされています。病と共に生きる患者と家族のQOL向上に向けて、専門家が行うサポーターティブケア(症状緩和、機能障害・生活活動支援、心理的サポートなど)について、共に学びましょう。

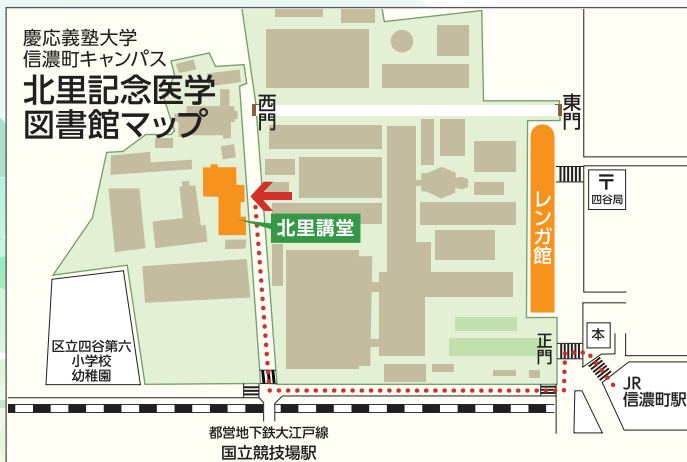
場 所

慶應義塾大学 北里講堂
東京都新宿区信濃町35

アクセス

- 中央線・総武線「信濃町」駅下車、徒歩1分
- 都営大江戸線「国立競技場」駅下車(A1番出口)、徒歩約5分
- 丸の内線「四谷三丁目」駅下車(1番出口)、徒歩約15分
- 半蔵門線・銀座線「青山一丁目」駅下車(0番出口)、徒歩約15分

※公共交通機関をご利用いただきますようよろしくお願いいたします。



問い合わせ先

慶應義塾大学 信濃町キャンパス学生課
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン事務局
〒160-8582 東京都新宿区信濃町35
Tel: 03-5363-3665 ※当日はTel: 03-5363-3773
Email: ganpro-jimushitsu@adst.keio.ac.jp

プログラム

開会 13:00—13:10

河上 裕

(慶應義塾大学医学部先端医学研究所(細胞情報研究部門) 教授
がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン 事業推進責任者)

市民公開講座 13:10—14:00

「精一杯、自分らしく生きるために
—“持ちつ持たれつ”も悪くない—」

座長 佐谷 秀行

(慶應義塾大学医学部先端医学研究所(遺伝子制御研究部門) 教授)

講師 齋藤 賢一

(聖路加国際病院 がん診療特別顧問・静岡県立静岡がんセンター 前病院長)

シンポジウム 14:00—16:30

「サポーターティブケアの
統合的な取り組みを目指して」

座長 小松 浩子

(慶應義塾大学看護医療学部 教授 がんプロフェッショナル養成基盤推進
プラン大学院健康マネジメント研究科 コーディネーター)

① 緩和ケア分野の取り組み

飯嶋 哲也 (山梨大学医学部麻酔科学講座 講師)

② 心のケアへの取り組み

保坂 隆 (聖路加国際病院精神腫瘍科 医長)

③ リハビリテーション分野の取り組み

辻 哲也 (慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学 准教授)

④ 口腔ケアに関する取り組み

野村 武史 (東京歯科大学口腔外科学講座 講師)

⑤ 看護分野の取り組み

久保 五月 (北里大学看護学部臨床看護学 准教授)

⑥ 薬学分野の取り組み

金子 健 (慶應義塾大学病院薬剤部 副主任)

閉会

武田 純三

(慶應義塾大学 病院長)